令和7年度　指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市駅前子育て広場	**施設所管課**	こども政策課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	**指定期間** **（評価実施年）**	令和4年4月1日	～	令和9年3月 31 日
			（指定期間　5年　のうち　4年目）		
施設設置目的	乳幼児の健全な遊び及び創造的な体験並びに交流の場を提供するとともに、その親に対し、子育てに関する情報及びコミュニティの場等を提供する				
主な実施事業	古河市駅前子育て広場の管理運営事業 子育てに関する情報提供及び相談に関する事業 親子同士の交流、語り合い、遊び場の提供に関する事業				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数（人）	利用団体数（団体）	減免数（件）	指定管理料（円）	指定管理者の収支状況			備　考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
342	27,314			51,361,000	51,537,792	41,551,674	9,986,118	

●管理運営状況

項目		評価基準（評価の観点）	評価内容			
			自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	○ネーブルパーク、古河総合公園、総和地区スポーツ施設など、他の指定管理施設と同様に、条例や仕様書の規定を遵守し、設置目的に沿った適切な管理運営を行いました。財政面も健全です。	A	他の指定管理施設と同様に、施設の設置目的を十分に理解した管理運営を行っている。また、財政面においても安定している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	B	○開館時間は、人員不足により4～6月は午前9時～午後5時とし、7月以降は条例どおりの開館時間で運営しました。 ○臨時休館時には、市の承認を得たうえで、広報誌やホームページ、LINEなどで事前に利用者へ周知しました。	A	仕様書及び協定書の内容（利用時間や開館時間等）を遵守した運営が概ねできている。 保守管理上、変更が必要な場合には、市の承認を受けたのち、広報紙や SNS 等を用いて利用者へ周知を図っている。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	○利用者アンケートの実施に加え、意見箱を設置することで、利用者からの多様な意見や要望の収集に努めました。 ○定期的に玩具や絵本を入れ替え、玩具のサブスクも継続して利用者が飽きずに楽しめる環境を整えました。また、利用者の製作物を館内装飾として活用し、視覚的にも楽しめる工夫を取り入れました。	A	利用者アンケートの実施及び意見箱の設置により、利用者からの意見を集め、可能な要望であれば迅速に対応をしている。 利用者が飽きることなく利用できるように玩具の入れ替えや管内装飾をして、利用者が楽しめる環境づくりを行っている。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A	○情報管理および危機管理については、関連するマニュアルや規定に基づき行動するよう徹底しました。 ○SNS（LINE、X）に掲載する写真については、利用者の個人情報が適切に保護されるよう、細心の注意を払って取り扱いました。	A	「個人情報保護マニュアル」及び「情報公開実施規定」に基づき、個人情報などの管理を適切に行っている。 SNS に掲載する写真については、個人情報について細心の注意を払いつつ情報発信がなされている。
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	○利用者の安全を確保するため、危険なものが落ちていないか、子どもが危険な遊び方をしていないかなど、館内の巡回を定期的に行いました。 ○消防法に基づく避難訓練に加え、水防法に基づく水害を想定した避難訓練を実施しました。	A	利用者の安全確保のため、日常的な施設内の点検や見回りを行っている。 防災訓練や水害を想定した避難訓練などを適切に行っている。
		・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年 1 回の避難訓練を実施している				
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A	○既存の危機管理マニュアルの	A	危機管理マニュアルを整備し、職

		・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている		整備を進めるとともに、職員への周知徹底を図りました。 〇避難経路は、職員や利用者から見える場所に館内掲示しました。		員への周知を行っている。 避難時の避難経路の確保が行われており、安全な避難体制が維持されている。
3.管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している	A	〇保育士資格を有する職員を配置し、係内での定期的な打合せを通して、情報共有と意識の統一を図りました。 〇防火管理者についても、法令に基づき適切に配置しています。	A	保育士資格や専門的な知識を持った人員を配置して、情報及び意識の共有を図っている。 防火管理者を適切に配置している。
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている	A	〇子育て支援や広場運営に関する外部研修を受講し、職員のスキル向上を図りました。 〇利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、親しみやすい環境づくりに努めました。	A	定期的に研修を実施し職員の知識及び技術の向上に努めている。 利用者との積極的なコミュニケーションが図られ、利用しやすい環境の提供が進められている。
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	〇日常清掃や定期清掃、保守点検を実施し、施設の機能維持に努めました。 〇施設内の清掃・消毒や玩具の消毒を行い、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めました。	A	日常及び定期清掃や保守点検を行うことで安心して利用できる施設づくりに努めている。 施設の維持機能のため、修繕が必要な個所を修繕し、利用者の安全確保に努めている。
	業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している	A	〇専門性の高い業務については、事前に古河市の承認を得たうえで再委託を行っています。また、再委託先からの報告および各種報告書の提出を受け、成果の確認を実施しています。	A	再委託の際には、事前に市の承認を受けており、成果確認を実施している。
4.施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している	S	〇子育て広場のチラシを庁舎および公社施設に設置しました。また、ホームページや SNS を活用して広報・PR を行いました。 〇予約システムを活用し、利用者の利便性向上を図りました。	A	チラシの配置及びホームページ及び SNS での PR を行い、利用の促進に努めている。 予約システムを用いて利用者が予約しやすい環境づくりを行っている。
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる	S	〇季節のイベント（夏まつり・ハロウィン・クリスマス会）に SDGsの内容を取り入れました。	A	季節のイベントや古河市 SDG パートナー登録団体として SDGsの内容を取り入れた企画を開催するなど、施設活用を適切に行っている。
5.効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額（サービスとコストのバランス）は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている（過剰な剰余金はない） ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	〇利用料収入は当初予算では 60,000 円を見込んでいましたが、最終的には 62,600 円になりました。 〇駅前子育て広場に係る会計は、他の施設と区分して管理しています。	A	利用金収入の当初見込みについて、乖離しておらず適切な値となっている。 会計は、他施設と区別した管理が行われている。

【評価基準】

SS	優良：仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの 【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良：仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの 【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通：仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分：仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備：仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	利用促進事業として実施している季節のイベント（夏まつり、ハロウィン、クリスマス会）は、毎年の恒例行事として定着し、利用者の皆さまにも楽しんでいただける内容を企画・実施しました。また、イベントや広場の製作、館内掲示を通して SDGs に触れる機会を設け、より身近に感じられる環境づくりにも取り組みました。 利用者から満足度の高い玩具のサブスクリプション事業については継続し、喜ばれる環境づくりに努めるとともに、玩具購入の頻度を抑える効果も得られました。施設の安全管理としては、誘導灯や煙感知器の交換など、必要な修繕を実施しました。 開館時間については、人員不足により 3 か月間の短縮営業を承認いただきましたが、7 月以降は条例どおりの開館時間で運営しました。さらに R7 年度には、自主事業として幼児用お菓子や紙おむつなどの販売を開始し、利用者の利便性向上に努めました。 翌年度も、利用者の皆さまに安心して楽しんでいただける施設づくりをさらに発展させられるよう、施設運営を進めてまいります。

所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	利用者からの要望に対して、可能な範囲で迅速に対応し、利用者の目線に立った運営がなされている。 また、今年度から自主事業として幼児用お菓子や紙おむつなどの販売も開始されており、利用者の利便性向上にもきめ細やかに配慮されている。 玩具のサブスクリプションによる定期的な玩具や絵本の入れ替えは、前年度に引き続き利用者アンケートにおいても高い満足度を得ている。 施設の管理面については、感染症予防の為の消毒液設置を継続して行っているほか、玩具消毒や喚起を行うことで利用者が安心して利用することができる環境づくり及び安全確保に努めている。 さらに、夏祭りやハロウィン、クリスマスなど利用者が参加しやすいイベントを開催することにより、利用促進、サービス向上に努めており、施設の設置目的や役割を理解した魅力ある施設づくりに真摯に取り組む姿勢を評価する。